

ボランティア...それは、私のライフワーク!



長谷川ぱんださんより

人生の偉人や達人は、後付けのタイトルみたいなもの。あなたの生き方が、一番正しいのです!ついでに、座右の銘(?)「我がなすことは、我のみぞ知る!」 by 坂本龍馬

ぱんださんの1週間

いろいろな所に歌を届けています。

- 月 高齢者サービス & 障がい児童サービス
- 火 高齢者サービス
- 水 高齢者サービス & 障がい児童サービス
- 木 知的障害児者就労支援・サービス
- [隔週]
- 金 就労支援事業所

私の人生は、すべて出会いから始まりました。AJU(愛の実行運動)との出会いは、昭和区杵中の、とある高校の部室の並ぶ敷地内に建っていた小さなプレハブからでした。

その時私は、16才の高校生。駆け出しのボランティアで、ただ言われたことをこなす続けるだけの毎日。それなりに満足していましたし、少しは誰かのために役立っているのかな?などと、一人悦に入っていました。そんなある日、障がい者団体「愛知県重度障害者の生活をよくなる会」(以下「よくなる会」)のクリスマスパーティーに誘われ、人前でギターを弾き語りすることに。まだ数えるほどしかしたことのないスーパーアマチュアだったにも関わらず、ついにオファーが来た!と思い込んでしまったのです。そんな勘違いから、私のライフワークと呼べる「成り行く人生」は始まるのでした。

DJで俳優の「アマチン」こと天野鎮雄様、「リコタン」こと岡本典子様、この有名芸能人との出会い。よくする会ができた当初、私はアマチン司会のイベント「さんさんフェスティバル」の手伝いや司会進行の真真事で、これもまた当時AJUの職員(だったか?)の名司会者、村上かづさんとの名(迷?)コンビとして業界を席卷(?)し、さらに「名古屋車いすシティマラソン」、「多治見ワインフェスタ」の迷司会者となります。

その後、リコタンが立ち上げた「視覚障害者の情報環境を考える会(ボイス・ケイン)」で、ボランティア会員となり副会長をさせていただいています。いつからか、故あってボランティアで来ていたZIP-FMのパーソナリティー、ジェイムス・ハイブンスとの出会いで、ますますDJ・MC熱に火がつき、コレもまた縁あって、あま津島のコミュニティーFM(FMななみ)の「ぱんだの部屋」でパーソナリティー「長谷川ぱんだ」として2013年にデビューし、今日に至ります。もちろん、16才からまがりなりにも歌い続けていたもう一つの顔「長谷川ぱんだ」は、結局ボランティアで長く歌い続けたことがある意味認められ(これも勘違い!!)、現在は定期的に福祉施設で歌うほか、イベントやライブハウスで活動しています。いわゆるシンガー(ソングライター)プロで、ボランティアになってしまった?!と言う顛末!詳しくはまた別の機会です。多謝!



いろいろなイベントで歌っています